

クラウドファンディングで 山岳環境を守れ

多くの登山ファンに愛される北アルプスパノラマ銀座。燕岳から蝶ヶ岳を繋ぐこのエリアは、行政と山小屋関係者が連携して整備を行っています。しかし、輸送コストの高騰や新型コロナウイルスの影響による登山客の受け入れ減少で山小屋の負担が増大。今まで山小屋が担ってきた登山道維持・環境保全・遭難対策などの公的役割にも大きな影響を与えかねません。そこで、インターネットで資金を募る「クラウドファンディング」に取り組み、全国の北アルプスファンに山岳環境を守るための支援を呼び掛けます。

過酷な環境下の山岳トイレ

北アルプスを訪れる皆さんを気持ちよく迎えやすくなるため、市では今回改築する燕岳の他に合戦小屋、中房登山口、一の沢登山口、三股登山口、冷沢登山口に4カ所の山岳公衆トイレを保有し、山小屋などが管理を担っています。

今回のクラウドファンディングで寄付を呼び掛けるのは、燕岳のテント場にある公衆トイレの改築費用です。年間約5千人、ピーク時には約1600人が利用する燕岳テント

場にあるこのトイレは、平成6年に建設。山岳の過酷な環境による劣化や臭気の解消と環境負荷の軽減が課題となっていました。

山岳での建設工事は平地での施工と異なる過酷な環境での作業となり、建材などの輸送コストも大きな負担となっています。

全国に呼び掛けます

かけがえのない山岳環境を地域の宝、日本の宝として次世代に引き継ぐため、クラウドファンディングを通じて、全国の北アルプスファンに持続可能な山岳環境の整備に理解を求めてまいります。

問 観光交流促進課拠点維持整備係
TEL71・2055 FAX72・1340

地味だけど、トイレは観光地の顔

株燕山荘代表

赤沼 健至 さん



北アルプスの山小屋も、このコロナ禍で厳しい状況が続いています。以前は1畳に2人以下でしたが、現在は1畳以上に1人で定員を半分以下に減らして運営しています。建設建材を運ぶヘリコプターの輸送コストは年々高騰している状況です。そのような中でも登山道や公衆トイレは、必要不可欠なものです。トイレの整備は、目立たず、地味な整備ですが、観光地の顔となる重要な役割を担うものだと私は思っています。山小屋でも、トイレが綺麗になるとお客様にとっても喜ばれ、それが山小屋を選ぶ際の評価の一つにもなっています。テント場は燕岳の重要な拠点。ぜひ多くの皆さんにご協力いただければと思います。

快適な登山ができることを楽しみに

登山愛好者

新谷 真佑 さん

学生時代に安曇野に登山で訪れ、雄大な景色、空気のおいしさに衝撃を受けました。トイレは登山者にとって欠かせない設備。洋式トイレになるというのは、外国人や女性にも利用しやすいと思います。また、環境にも配慮された設備だと聞いていますので、あの美しい環境を愛する登山者の皆さんにご協力いただけるのではないのでしょうか。私も微力ながら協力したいと思っています。登山はコロナ禍でも楽しめるアウトドアだと思います。大変な時期ですが、トイレの改築でさらに快適な登山ができることを楽しみにしています。



燕岳テント場の公衆トイレ改築工事

全国から資金を募ります。

ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディングサイト(GCF)で、全国から燕岳公衆便所改築費用の寄付を募ります。ぜひご応募いただくとともに、全国のご友人・お仲間にも広くご案内ください。

募集期間 6月中旬～9月中旬 (6月中旬より閲覧可)

金額とお礼の品

- ① 1万円未満 お礼状・北アルプスパノラマ銀座登山マップ
- ② 1万円以上5万円未満 ①+「信州安曇野オリジナル木札クーポン」・「信州安曇野オリジナルボトル」(どちらか一つ)
- ③ 5万円以上 ①+「信州安曇野オリジナル木札クーポン」+「信州安曇野オリジナルボトル」

信州安曇野オリジナル木札クーポン

北アルプスパノラマ銀座のテント場が1泊無料になる特典付き木札クーポン。(利用できるテント場はふるさとチョイス GCF サイトに掲載します)



オリジナルボトル

フレンドタウン登録をしているアウトドアメーカー「モンベル」のクリアボトルに安曇野オリジナルデザイン(左図)が刻印された限定ボトル。



デザイン案



快適で環境に優しい設備を

現在の燕岳テント場の公衆トイレ(写真左上)。導入を検討しているトイレは、大便と小便を分ける固液分離方式。小便はろ過し、環境負荷を減らして地下浸透。大便はヘリコプターで運び出します。また、外国人登山客や若い世代の声を取り入れ、和式から洋式化する方針です。